

村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2019.12.2

教育委員会だより
冬休み前号

愛村心(|尊心)を育む天栄村!

発行: 天栄村教育委員会

約束を決めていますか? ~ゲーム・インターネット・SNS~

メディアの発達は、我々の生活を豊かにする反面、使い方を誤ったり、ルールを無視すると大きな被害を受けたり、被害を与えたりする場合が子どもの中でも出てきています。

以下のグラフは、福島県と天栄村の小学6年生と中学1年生の「けい帯電話やスマートフォンで通話やメール、 インターネットをすることについて、家の人と約束を決めていますか」という質問に対しての結果です。

急速かつ目まぐるしいメディアの発達によって、今の子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。私たち大人が早急に対策を講じることが、ゲーム障害やゲーム依存、SNSを介してのいじめ、様々なトラブルを未然に防ぎ、子どもを被害から守ることにつながります。

適切に使用する能力を身に付けさせたり、適切に管理したりすることは大人の役目です。冬休みを前に、ご家庭でもメディアの使い方や約束事について、お子さんと一緒に話し合ってみてください。



設定していますか?「フィルタリング」



左の円グラフは、SNS等のコミュニティサイトを利用して犯罪に巻き込まれた子どものフィルタリング設定率です。フィルタリングが未設定であると、有害なデータを送受信することが可能になるだけでなく、個人情報が流出し悪用されたり、犯罪に巻き込まれたり、メディア媒体が乗っ取られたりし多額の金額が請求されたりする危険性が非常に高まります。

フィルタリングは、スマホやタブレットだけではなく、ゲーム機も設定できます。最近は、オンラインゲームによるトラブルも増えてきています!

★大人が知らないところで、こんなトラブルが増えています。

オンラインゲームで知り合った 人へ誹謗中傷をしたことよるト ラブル オンラインゲームでチームを組んだ 友だちを仲間外れ(ブロック)にす るトラブル SNSへの悪口の書き込み やグループからの仲間外し によるトラブル

オンラインゲームでチームを組んだことで、チームから抜け出せなくなり、長時間のゲーム使用となるトラブル

オンラインゲームでアイテムを購入 する課金やネット使用料が多額となるトラブル SNSへの個人情報や写真 を載せたことにより、他者 から悪用されるトラブル

ネット被害から子どもを守るために

お子さんのインターネット利用に関する「知識やモラル・危機回避能力」はどの程度身に付いていますか。 「正しく怖がる知識」を身に付けさせていくことは、無用なトラブルを回避するための大切なポイントです。

保護者の責務

青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の 整備等に関する法律 (青少年インターネット環境整備法)

- ◆ 子供のインターネット利用状況を適切に把握する
- ◆ フィルタリング等の利用により、子供のインターネットの利用を適切に管理する
- ◆ 子供がインターネットを適切に活用する能力の 習得の促進に努める
- ◆ 不適切な利用により、売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する

ルールを作るときのポイント

Point1 「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」 ことをきちんと伝える

Point2 お互いに納得できるよう、話し合って作る

Point3 子供が守れるルールを作る

Point4 具体的なルールを作る

Point5 守れなかったらどうするか決めておく

Point6 トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく

PhoneWall



お父さんやお母さんがスマホに夢中になるあまり、その『時間』だけでなく親子の『心』の間に大きな壁が作られてしまうことを意味しています。

フィルタリング設定をせずインターネットを利用することは、外部の 人たちに情報を与え、悪用されることにつながります。

インターネットを利用する者としてのマナーやルールを教えるのは、 保護者の責務です。

【ポイント】

- お子さんの成長に合わせてルールを変えていきましょう。
- ② お子さんの生活リズムの変化 に合わせてルールを変えてい きましょう。
- ※ お子さんと話し合い、互いに 納得するようなルールをつく っていくことが大切です!

【例えば】

- ① スマホやゲーム機などは、保 護者の目の届く場所でのみ使 用させたり、充電させたりす る。
- ② アプリやゲームをダウンロー ドする場合は、年齢制限や内 容を保護者が確認する。
- ③ インターネットやインターネットショッピングへの接続制限をする。
- ④ 無断で画像やデータ等を送受信することを制限する。

など

まずは周りの大人が、お手本となる行動をとることが大切です。お子さんとの二度と訪れることのない貴重な今という時間をスマホなどの時間に費やしていませんか?